センチメンタルジャーニー「湊山小学校」

2022 年 6 月 20 日　飛田雄一（ひだ　ゆういち）　hida@ksyc.jp

（1）「湊山小学校」

神戸市立湊山小学校に行った。2015 年に廃校になっているので、正しくは「元小学校」だ。7 月 1 日、ここに「NATURE STUDIO」がオープンする。水族館もできるし、ビールスペースもあるとのこと、また来なくてならない。

ここに「雪見の御所」の石碑が残っている。この石碑は、私の在学時には外から見えない校庭の隅にあった。この御所を宣伝しなくてはと、ある時期に道路側に移転させたとのこと。

湊山小学校前の「さようなら」の横幕／雪見の御所の石碑、銘板

ビールと水族館／これが正面入り口、すでに一部オープンしていた

私は 1950 年生まれ、団塊の世代が 1947 年～1949 年生まれで、姉は 3 つ上で 47 年生まれ。なにしろ

子どもが多い。体育館も、音楽室も仕切って普通の教室になっていた。午前午後の 2 部授業になっていて、姉と通学路で、昼頃にすれちがって、「おかえり」「いってらっしゃい」と言っていた。

１クラス 50～60 名。授業参観で父母は教室に入れず廊下からの参観だった。

小学校の前の散髪屋に同級生のヒーローがいた。U さん、背は高くないがめっちゃめちゃ（すごいの兵庫弁？）足が速い女の子。運動会のリレーでぶっちぎりだった。

運動会では「町別リレー」がメインイベントで、町別に各学年の代表 6 名が選ばれる。私は、もっと足の速い稲田という同級生が同じ町内にいて、６年間、出場できなかった。

校庭に大きな鉄棒があった。近所のおっちゃんが、下駄をはいてときどきやってきた。そして、大車輪をした。今なら完全に不審者だ。が、私はあこがれた。で、中学校で機械体動部に入り、できるようになった。

近くに銭湯「大黒屋」があった。同級生の橋本しんじ君のところだ。彼とは、小学校 1 年から 5 年まで同じクラス。なにしろ 1 学年 10 クラス？もあったので、これは珍しいことだった。数年前に同窓会であったが、最近亡くなった。そして、大黒屋も閉店してしまった。力道山のプロレスもそこで見せてもらった。彼は、いつも仕事で番台に座っていた。うらやましかった。

（2）「にじゅうーだん」「ごじゅうーだん」

そして、そこから数分のところにあるのが石井幼稚園。私はそこに住んでいた。母が働いていて、私は、1 歳のころからそこに入園していた。自宅の戸を開けるとそこは園舎。自宅では「おかあさん」、園では「せんせい」と呼ぶようにしつけられていた。そのことを祖母は不憫（ふびん）がっていた。

いつも通っていた、プロレスも見せてもらった大黒湯／生まれ育った、なつかしの石井幼稚園

このあたりは私の遊び場。50 段、20 段があった。階段のことだ。それぞれ行ってみた。20 段は 30 段近くあった。別に 20 段があったのかもしれない。その 20 段の近くに石井の清水（しみず）があった。だいぶ雰囲気が変わっていたが、滾々（こんこん）と湧いていた。都由乃（つゆの）町と千鳥町の境界にある。

この辺りにコガネムシのよく集まる大きな木が 2 本あった。1 本の木で２～３０匹つかまえて、次にもう 1 本に移動。そこでまた２～３０匹。それをくりかえして大量に捕獲した。糸をつけて遊んだ。食べて

いません・・・。

「50 段」（左の階段は昔なかった？）／「20 段」？

石井の「清水（しみず）」（神戸弁で、しみず）※「ず」が上がる

石井幼稚園の西１００メートルにあるのが「都由乃の森」。あった。が、木が２本だけ残っていた。フクロウが住んでいた。

私の生まれ育った幼稚園のあるのが都由乃町。姉の名前は、「つゆの」。親父の命名だが、ひどい。当時、「ててなしごには拾りわれた場所の地名をつける」と言われていた？。当時の女の子はほとんどが○○子。「つゆの」は目立った。名簿から名前をさがしだすのがスピーディというメリットがあった。私、雄一は、祖父・鈴木浩二牧師が旧約聖書の「雄々しくあれ」から命名している。うん。

「都由乃の森」

（３）掘割りとブタ小屋

石井幼稚園から２０分ほど登ると「掘割り」にでる。昔はもっと狭かったような気がする。車のために拡張したのではないかと思う。

掘割りをぬけると、わたしたちの秘密基地だった。崖に防空壕のようなものを作って遊んだ。川では、ザリガニなどをとった。ドジョウをとるべく鍋に穴の開いた布をかぶせ、小石でカモフラージュする罠をつくったがとれた記憶がない。

そのあたりの川には、ブタ小屋があった。いまは、駐車場になっていた。いま思うとそれは、在日コリアンのものだったのか？　そのおじさんの顔をなんとなく覚えているが、その後、どこへいったのだろうか？　いつまでブタ小屋があったのだろうか？

その川には、「チリンチリン」「カランカラン」、二つの滝があった。小学校の先輩がそこで亡くなって、その後わたしたちには、近づき禁止令がでていた。今回、「千鳥ケ滝」の表示をみつけたが、それがチリンチリンの滝だったのかもしれない。

掘割り／昔遊んだ崖？／もっと土がまるだしだった

この駐車場あたりにブタ小屋があった／右、千鳥ケ滝、まっすぐで烏原貯水池の道標

（４）烏原貯水池のカメ

山に少しいくと烏原（からすはら）貯水池がある。大好きだった「亀」もいた。きょうも、かわいらしかった。貯水池によって烏原村は水没した。そのなごりの碾き臼がダムの壁面におかれている。われわれら自転車仲間のレジェンド・片岡さんも烏原村出身。この碾き臼のひとつが片岡さんちのものだろう。レジェンドは 92 歳まで私たちといっしょに走っていた。私は、あと 20 年、走れる？！

烏原貯水池のカメ／目がかわいい／大正３年（1914 年）とある

きょうの貯水池は、けっこう水があったが、水が亡くなると烏原村の鳥居などが見えていた。

ここのダム、昔は一般に渡れなかった。年に一度、私は石井幼稚園の七夕用の笹（キリスト教幼稚園だがまあいい）をもらいに、ダムを渡った。卒園生の家があったのである。よいしょよいしょと引きずって帰った。

いま、このダムは許可なくても渡れる。ダム一周が「烏原 水と森の回遊路」になっているのだ。私はマウンテンバイク（アシスト）で快適に走った。２．７キロ。

「水と森の回廊」案内／立派な烏原ダム

ダムの上端あたりに親水公園がある。その近くで、毎年１０月に焼肉パーティを開いている。「神戸電鉄敷設工事朝鮮人犠牲者を調査し追悼する会」のイベントだ。会下山公園のモニュメントでの集会ののち、ここにくりだすのだ。その場所も写真も写してきたが、やはり雰囲気がわからない。以前の BBQ の写真も入れておいた。

いやいや、いろんなことを思い出した。感慨にふけるのも、加齢のためか・・・。つぎは、どこに、センチメンタルなジャーニーをしようなか？

このあたりで「神戸電鉄敷設工事朝鮮人犠牲者を調査し追悼する会」焼肉の会／コロナ前です、こんな感じ

2022 年 6 月 20 日発行
発行者：飛田雄一（ひだ　ゆういち）
〒657-0011 神戸市灘区鶴甲 4-3-18-205
hida@ksyc.jp
Facebook　「飛田雄一」で検索
ゆうさんの自転車／オカリナ・ブログ　http://blog.goo.ne.jp/hidayuichi/